

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

(令和8年1月30日発行)

1. 定点把握対象疾患の発生動向 ※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数、下段は一つの定点(医療機関)あたり一週間に診断した患者数。*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症。

疾 病	疫学週			
	1週	2週	3週	4週
イ感新～急 ン染型A性 フ症コR呼 ルロI吸 エナ～器 ンザ ウイルス	226 45.20	490 98.00	350 70.00	594 118.80
	39 7.80	71 14.20	39 7.80	88 17.60
	14 2.80	24 4.80	14 2.80	13 2.60
小児科定点	RSウイルス感染症 *			
	咽頭結膜熱 *			1 0.33 0.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 *	2 0.67	2 0.67	6 2.00 2.67
	感染性胃腸炎	4 1.33	19 6.33	10 3.33 3.67
	水痘	3 1.00	3 1.00	1 0.33 5 1.67
	手足口病			
	伝染性紅斑			1 0.33 1 0.33
	突発性発しん			2 0.67
	ヘルパンギーナ *			
眼科定点	流行性耳下腺炎			
	急性出血性結膜炎			
基幹定点	流行性角結膜炎		1 1.00	
	感染性胃腸炎(口タウイルス)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)			
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)			
	マイコプラズマ肺炎	1 1.00	3 3.00	
拡張疾患	無菌性髄膜炎			
	マイコプラズマ肺炎(小児科)	1	6	3 1 1
	川崎病			
	不明発疹症			

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原支所の過去2週間における対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	○	—	—
備考	感染性胃腸炎		

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

【医療機関の皆様へ】

- 感染症法に基づく、アカウント発行 システムログイン
医師の届出に必要なアカウントの発行及びシステムのログインは
こちら



【全数報告疾病】※栗原支所管内

- 5類:百日咳 男性1名

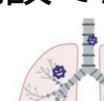
【定点把握対象疾患の発生動向】

※栗原支所管内を含む大崎保健所管内

- インフルエンザの患者報告数が2倍以上に増加しています。全国的にB型インフルエンザウイルスの検出割合が増加しており、警戒が必要です。
- 感染性胃腸炎は依然として報告数が多く経過しています。感染者の吐物や便等を処理する際には、マスク・手袋・プラスチックエプロンを着用するとともに、処理物が飛び散らないように注意して次亜塩素酸ナトリウムで消毒を行い、終了後は石鹼と流水による手洗いを行ってください。
- 水痘の患者報告数が増加しています。家庭内の感染を防ぐために水疱(水ぶくれ)に触れた後は手洗いを行い、タオルの共用を避けるといった予防を徹底してください。

【集団発生状況】※栗原支所管内

- 新たに保育施設で感染性胃腸炎の集団発生がありました。



【お知らせ】 3月24日は世界結核デー

- 1882年3月24日に細菌学者ロベルト・コッホが結核菌の発見を発表し、WHO(世界保健機関)は、結核問題の重要性を警告し、結核対策の強化の必要性を訴えるため、この日を「世界結核デー」と定めました。
- この日は、世界各地で結核の予防に関する啓発活動が行われます。

【感染症コラム～消毒薬の適正使用～】

- 感染制御において消毒薬の適正使用は重要です。
- 消毒効果に影響を与える主な因子としては、「濃度」、「時間」、「温度」が挙げられます。
- その他にも、消毒前の洗浄、付着している有機物、汚染微生物の種類と量、対象物の形状などがあります。
- 消毒薬の不適切な使用により、取扱者やその周囲のものに有害作用を起こした事例や、不十分な消毒によりかえって感染源となった事例もあるため、医療機関や教育・福祉施設では全職員への教育・周知が大切です。
- どの消毒薬を使用する場合でも、使用方法、有効成分、濃度、使用期限などを確認し、情報が不十分な場合には使用を控えましょう。

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班

☎ 0228-22-2117 ☎ 0228-22-7594